

20. 多連結領域，等角寫像 = 就テ

遠木幸成 (阪大)
(1946. XII. 16 貰付)

多連結領域，等角寫像 = 岩波 T. Radó, 一定理
(Acta Szeged II) を失々拡張シマス。

定理 $\Gamma_1, \Gamma_2, \dots, \Gamma_p$ の境界，成分 = エッジ P 重連結領域
を D_0 トス。 D_0 の真部分領域 D_1 が 次の i), ii), 條件ヲ
満足スルトラバ $D_0 \cap D_1$ へ 一対一 等角 = 寫像スルコト
ハ出来ナリ。

- i) D_1 鮎集合，各成分ハタクトエヌツ T_i を含ム。
- ii) $p=2$ ナルトキハ Γ_1, Γ_2 ハ共ニ少クトエニテ Γ ハ合ム。

(証明) 若シ $D_0 \cap D_1$ へ 一対一 等角 = 寫像スル 画數
 $f_0(z)$ がアツタ トスル。 $f_0(f_0(z)) = f_1(z)$ 一般ニ
 $f_0(f_{n-1}(z)) = f_n(z)$ ($n=1, 2, \dots, p$) トスレバ、
條件 i), ii) シヨリ $\{f_n(z)\}$ ハ D_0 テ 正規族ナス。 故ニ
一様收斂スル部分画數列 $f_{n_\nu}(z)$ カ 存在スル，コレヲ

簡単 = スル為 = $f_v(z) + \text{カウコトニスル} = D_0$, $f_v(z) =$
 ヨル但願域 $\cap D_0 + \text{シ}$, $\lim_{z \rightarrow \infty} f_v(z) = f(z) + \text{スル, } f(z) \text{ は}$
 常数 \neq ハナハ 何トナレハ, 先づ $P = z + \text{ルトキハ}$
 T_1 或 T_2 の内部 = 合ム如キ D_0 内, Jordan 閉曲線,
 $f_v(z) =$ ヨル像曲線 $\cap D_0$, 一ツ, 境界 \cap 内部 = 合ム。亦
 $P > 2$. + ルトキハ 只一ツ, T_i の内部或外部 = 合ミ互=
 交ハル如キ Γ 個, Jordan 閉曲線, 像曲線 $\cap D_0 =$ 同シテ
 同シ關係 = ハル。コト事ヨリ 一ツ, 常数 K が 存在シテ
 $\sup_{z' z'' \in D_0} |f_v(z') - f_v(z'')| \geq K$ が成立スル。従ツテ, $f(z)$ へ常数
 テハアリ 得ナフ。

故 = $f(z)$ は 一價正則 ナル 故 = D_0 , $f(z) =$ ヨル像 D の
 領域テアリ。従ツテ 開集合テアリ。シカモ $D_{v-1} \supset D_v$
 $D_v \subset D$ ナルコトハ明ラカテアリ。今 $z_0 \in D_0$,
 $z_0 \in D_1$ ナル如キ $z_0 \neq$ トリ, $f_v(z_0) = z_v$ 且 $f(z_0) = z$
 $\text{コトハ 明ラカデアル 且 } z_v \rightarrow z + \text{ルコトヨリ。}$
 $z \in D$, 境界矣 テナケレバ ナラヌ。コレハ 矛盾テ
 ハル。(証了)

尚コト、庄理ハ無限多連結領域テモ成立、

次 = T. Maček ハ Acta Szeged I テ 多連結領域
 (三重連結以上) ナリ自身 = 等角寫像スル 一價 $P (P \geq 2)$
 葉面數ハ存在シナハコトヲ証明シテキルカ等角寫像
 1カワリ = 内部裏換テモ成立ツコトヲ証明シヨウ。

定理 n 重連結領域 $D (n \geq 3)$ ナリ自身 = 寫像スル
 一價 P 葉 + 内部裏換ハ存在シナハ。但シ $P \geq 2$ トス。

証明) 領域 D の Grundfläche トシ, P 葉, Über-
 lagerungsfläche へ位相寫像シタクレハ D ,
 Euler 指數 P_0 + Überlagerungsfläche, Euler
 指數 P ハ等シイ。咎ル = Hurwitz, 寄保式 = \exists
 $P = P_0 + v$, 但シ v は Überlagerungsfläche.
 分岐矣, 分岐次數 総和ヲ表ハス。

咎ル = $P_0 = n-2$ ナル。従ツテ $P = n-2 = P +$
 故 = $n-2 = r(n-2) + v$ $n \geq 3 (n-2) P$

コレハ $P \geq 2$ タルトキハ \vec{v} 頭テアル。 (証了)